

事業番号	02 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	松本空港課		
		実施期間	S40 ~	E-mail	airport@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	④観光消費額						
総合的に展開する重点政策	3-9 本州中央部広域交流圏の形成						

1 現状と課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い急減した航空需要の早期回復を図るとともに、更なる航空ネットワークの充実化と利用しやすい時間帯へのダイヤ設定など利便性の向上に取り組むことが必要。
- ・就航間もない神戸線の運航定着に向け、比較的利用が少ない神戸方面からの需要確保が必要。
- ・国内旅行回帰の流れを捉えるなど将来を見据えた新たな取組の展開が必要。
- ・路線拡充や国際化に向けて、空港の適切な維持管理とともに、施設の機能強化が必要。

2 事業目的

- ・信州まつもと空港に関する広報と利用者・旅行会社等への支援に関係機関と連携して取り組み、信州まつもと空港発着の国内路線の拡充や国際プログラムチャーター便の誘致を目指す。
- ・空港施設の諸機能が健全に発揮されるよう日常点検等を実施するとともに、施設の修繕や設備の更新、空港周辺環境整備など地元地区の理解と協力のもと計画的に行うことで、安全、安心な空港を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①定期便の利用促進と新規路線の開拓
- ・県内及び就航先の需要確保のため、ターゲットを明確にした広告宣伝やイベントを活用したPRを展開
 - ・神戸線の認知度向上のため、関西方面でのPRや旅行会社への支援を継続
 - ・利用が落ち込む冬期間の需要確保のため、旅行会社の商品造成に助成
 - ・季節便の利用回復のため、Web等を活用した広告宣伝を実施
 - ・沖縄とのチャーター便数増加に向けた旅行会社への働きかけ
 - ・旅行会社のツアー商品造成に助成
- ②国際化に向けた誘致活動
- ・航空会社訪問等による国際チャーター便の誘致、航空会社等への助成
 - ・Web広告による国際乗継便のPR
- ③空港の維持管理及び機能強化
- ・施設等の保守管理、更新・修繕など空港機能の維持管理を実施
 - ・航空会社が実施するハイジャック等防止対策事業に対して助成
 - ・官民連携による新たな空港運営手法を検討



4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	空港利用者数	千人	76	130	↗	229	↗	188	達成	航空需要の回復及び路線拡充による空港利用の増加を図るため、空港の利用状況を表す国内定期便（季節運航便を含む）及び国内・国際チャーター便の利用者数を設定。感染拡大の影響を考慮した上で、令和4年度は一定程度の航空需要の回復を見込み、目標値を188千人とした。	
②	国内定期便利用率	%	41.1	46.6	↗	66.2	↗	60.0	達成	航空路線の維持及び拡充を図るため、国内定期便（季節運航便を含む）の利用率を設定。感染拡大の影響を考慮した上で、令和4年度は一定程度の航空需要の回復を見込み、目標値を60%とした。	
③	国際チャーター便就航便数	便	0	0	—	0	—	10	未達成	空港の国際化を推進するため、国際チャーター便就航便数を設定。令和4年度はコロナ禍における国際線航空需要の回復を見込み、目標値を10便とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	413,956	28,537	442,493	309,320	435,124	16.0
R3年度	0	498,495	△ 72,460	426,035	371,802	412,688	14.0
R2年度	0	449,030	△ 99,070	349,960	303,109	341,516	14.0

事業番号	02 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	松本空港課

6 主な取組実績と成果

<p>① 定期便の利用促進と新規路線の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内関連団体、就航先自治体、航空会社等と連携し広告宣伝やイベントを活用した路線のPRを実施 ・神戸線の認知度向上のため、イベント参加（年間3回）、デジタルサイネージ（7～8月、計6か所）等でのPR及び、旅行商品造成のための旅行会社へのセールス活動（年間2回）や広告、送客助成（4社）を実施 ・沖縄チャーター便の運航に対するエアポートセールスと助成を実施し、20便のチャーター便が運航 <p>② 国際化に向けた誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空会社、旅行会社に対するエアポートセールス（韓国、東京、名古屋） ・副知事訪韓によるトップセールス（大韓航空本社及び韓国の旅行会社） <p>③ 空港の維持管理及び機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港の各種保守管理等（消防警備業務委託、灯火保守業務委託、緑地管理業務委託、ハイジャック等防止補助）を実施 ・空港周辺の騒音の現状と、影響する範囲について航空機騒音調査等を実施 ・令和8年度供用開始に向けRESA（滑走路端安全区域）の基本設計を実施 ・松本空港脱炭素化推進事業として航空機地上支援業務車両のEV導入、空港ターミナルビルのLED化等を推進
--

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	空港利用者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年から札幌丘珠線が夏期通期運航となったことに加え、行動制限が緩和される中において、県内や就航先でのエアポートセールスや広告宣伝、旅行商品への助成を行ったことにより、空港利用者数はコロナ禍前を上回る229千人となり目標値を上回った。 							
指標②	国内定期便利用率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大で停滞した経済活動が、行動制限が緩和されるにつれ回復し利用率増となった。 ・コロナ回復期に向けた利用促進に加え、国の施策（旅行支援）等により旅行需要が回復し、利用率増となった。 							
指標③	国際チャーター便就航便数	R3年度推移	—	R4年度推移	—	達成状況	未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ水際対策の緩和が10月以降となり、国際航空旅客の回復が定期便中心となった。 ・コロナ禍（回復期）にあつて航空機や地上要員の不足など、国際チャーター便運航の条件が整わなかった。 							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港利用者数については、丘珠線の運航期間延長やエアポートセールス、助成等によりコロナ禍前を上回っているが、コロナ回復期においても継続した需要確保が必要。 ・令和3年度に復便化された神戸線について、他路線と比べ利用率が低いと、市場の大きい関西地域での認知度向上が必要。 ・国際チャーター便については、再開に向けたエアポートセールスや助成金による支援が必要。 ・受入拡大に向け、空港施設の諸機能が健全に発揮されるよう、空港の適切な維持管理と施設の機能強化が必要。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ回復期における継続した需要を確保するため、ターゲットを明確にした広告宣伝や利用者・旅行会社への効果的な支援等を行う。 ・神戸線の認知度向上のため、関西地域における広告宣伝や旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行っていく。 ・国際チャーター便の再開に向けて、旅行会社及び信州まつもと空港の離発着条件に合致する機材を保有する航空会社を中心に、海外トップセールスを含めたエアポートセールスを展開していく。 ・空港の機能強化を進めるとともに、受入拡大を見据えた施設整備を実施していく。

事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	松本空港課
-----	-----------------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	信州まつもと空港活性化事業費	29,258 千円	43,333 千円	36,987 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州まつもと空港利用促進協議会負担金	負担金	県内市町村、関係団体と連携して空港の利用促進を図るための協議会への負担金【広告宣伝費、旅行商品造成に対する助成など空港利用促進事業の実施】 エアポートセールス訪問団体件数 27件	
2	空の日事業負担金	負担金	スカイフェスティバルin松本の開催 年1回（9月25日）開催	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	空港管理費	312,258 千円	369,355 千円	398,137 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	各種保守管理業務委託	委託	消防警備委託、灯火保守管理委託、除雪業務委託、緑地管理業務委託、航空機騒音測定調査 等 消防警備等各種業務委託等を年間を通して実施	
2	施設修繕等	直接	施設修繕、燃料費、光熱水費 等 年間を通じた空港維持管理を実施	
3	ハイジャック等防止対策事業費補助金	補助金	航空機の不法奪取等の防止を図るため、航空会社が行う保安検査員の配置等に対して補助【補助対象者：（株）フジドリームエアラインズ】 補助金額:39,635千円	
4	騒音防止工事機能回復事業補助金	補助金	空港周辺の環境整備のため、騒音防止機能回復工事に対して補助 騒音防止機能回復工事 2か所	
5	空港機能強化事業	直接	地標航空灯台のLED化更新工事、CO2削減など環境に配慮した医療資機材車両への更新 地標航空灯台更新工事の実施、医療資機材車両更新（1台）	